

明石市立大蔵中学校だより「2020年12月8日(第87号)」

## 書あり 師あり 友ありて

### 第75期生徒会執行部が決定しました

学校長 平田 高之



のぞみ学級生徒作成

12月4日(金)に、第75期生徒会役員を決定するための演説会と選挙が行われました。本校にとって、とても大切な行事の一つですから、本年度初めて体育館に生徒全員が集まり実施する予定で準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染症の再拡大を受け、残念ながら放送での実施となりました。

生徒会長・副会長・評議会議長・各委員長の定員11名に対して13名もの生徒が立候補してくれました。その勇気と、勉強と部活動の両立に加えて、自分の貴重な時間を、学校全体のために使ってくれる生徒が多くいること、また、放送でしたが、各立候補者が自分の思いはもちろん、具体的なマニフェストまでも表明している生徒もいて、大変頼もしく、心強く感じました。さらに、昨年度もそうでしたが、それまでも、各学級で評議員や委員として、学級・学年のために頑張っている生徒、1年生の時から生徒会執行部の役員になりたいという前向きな気持ちで、その委員会に所属していた生徒もいたことにも感心させられました。

第73期・74期生徒会執行部の先輩たちのがんばりとその後ろ姿をしっかり見てくれていたのだなと嬉しくなりましたし、この度選ばれた第75期生徒会執行部も、第74期に引き続き、学校全体をしっかり引っ張ってくれると強く感じました。

12月24日(火)及び1月7日(木)の生徒集会の中で、第74期生徒会から第75期生徒会へ正式に引き継がれます。なお、終業式・始業式とも、放送で行う予定です。

### 修学旅行が無事に終了しました

このことについても、すでにホームページの「学校からの連絡」また、「最近の行事」の中で、活動の様子をご紹介しましたが、新型コロナウイルス感染症が再拡大する中で心配しておりましたが、保護者の皆様のご理解、関係者の皆様のご尽力で無事に終了することができました。

74回生の生徒たちは、体育大会・文化発表会で見せた底力を、この修学旅行でも大いに発揮してくれました。11月は、実力テスト・期末テストがあり、取組時間がほとんどない中、少ない時間を使って準備を進め、当日の動きも、自分たちで考えとてもスムーズでした。

特に、朝の集合時間はもちろんですが、修学旅行では、活動後の集合時間に遅れてくる生徒がよくいるのですが、ポルトヨーロッパ・アドベンチャーワールドの集合時間も、遅れる生徒は全くなく、きっちり守ってくれました。お陰で、1日目のホテルへのチェックイン、さらに、2日目の帰校時間が、渋滞にかかることなく、予定より30分早く戻ってくることができました。

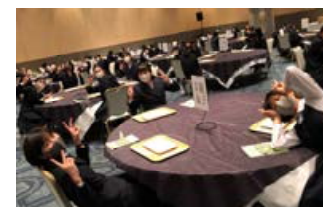
また、今回は、新型コロナウイルス感染症対応ということで、マスクの着用、手指消毒の徹底等も意識して行動してくれました。特に、楽しい食事時間でも、食事の時だけ外し、その後はすぐにマスクを着ける等協力してくれました。

さらに、訪問先での挨拶、立ち振る舞い等も素晴らしく、教員が大きな声で注意をする必要はなく、さすが大蔵中生と感心させられました。生徒たちに歓迎の挨拶をして頂いたホテルの副支配人の方には、「うちの学校は大変落ち着いていて、生徒たちが迷惑をおかけすることはないと思います。」と自信を持って伝えていたのですが、ホテルスタッフの皆さんから「礼儀正しい生徒さんたちで素晴らしい学校ですね。」と、さらに、バスの運転手さんも、「本当に素晴らしい学校で、仕事がしやすかったです。」とお褒めの言葉を頂き、大変嬉しく思いました。

今回は平和学習等を行うことはできませんでしたが、このような状況下での修学旅行であることを理解し、考え行動できたことを、自分の進路希望を達成できるがんばりや3月の卒業式等、今後の普段の学校生活につなげていけるよう、引き続き学年・学校全体で取り組んでいきます。

なお、新型コロナウイルス感染症の再拡大の中で、残念ながら参加できなかった生徒もいました。解散式では、修学旅行の余韻に浸るのは今日までで、その後は、参加できなかった生徒にも配慮できる人間性の成長も期待していると話をさせていただきました。

いずれにしても、第3波の中で、無事に終了することができましたことは、保護者の皆様のご理解、関係者の皆様のご尽力の賜物、そして、何より素晴らしい生徒たちに恵まれたからこそと、改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



### 本校卒業生がミス日本コンテストのファイナリストに

本校卒業生の活躍については、日本高校新記録を達成した明石商業高校の古林 愛理さん、プロ野球ドラフト会議で読売巨人軍からドラフト2位で指名された東海大学の山崎 伊織さんについては紹介させていただきました。山崎さんと同学年の高垣 七瀬さんが、「第53回ミス日本コンテスト2021」のファイナリストの13名のうちの一人に選ばれていることが分かり、ご本人の了解を得ることもできましたので、ご紹介させていただきます。

ミス日本コンテストでは、ファイナリストに「外見」だけでなく、「内面」「行動」の美を磨くということで、「日本のこころ」や「日本文化」について学ぶ勉強会等が実施されたようですが、最終結果は2021年1月20日(水)に決まるようです。

いずれにしても、様々な分野での先輩の活躍が、在校生の大きな刺激となり、中学校生活のモチベーションを高めるきっかけになってくれればと願っています。